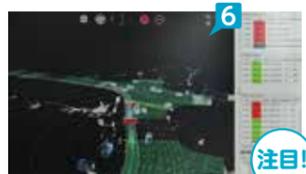


自動運転の技術を見てみよう!



車両名 Minibus(ミニバス) 2.0
 動力 電気自動車(EV)
 乗車定員 自動運転時は18人 ※乗務員含む
 最高速度 自動運転時は40km/h ※レベル2走行時
 自動運転ソフト Autoware ※国産の自動運転OS



車内モニターの様子
 ①～⑤のセンサーが捉えた情報が3次元地図上に表示されます。

注目!



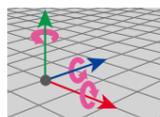
1 LIDAR 8基
 レーザーを照射し、対象物までの距離や形を取得。



2 Radar 6基
 電波を照射し、跳ね返ってきた電波を捉えて、対象物の速度や距離を検出。



3 GNSS 1基
 複数の衛星からの信号で、地球上の車両位置を正確に取得。



4 IMU 2基
 3次元での加速度と回転運動を計測し、車両の姿勢や動きの変化を検出。



5 カメラ 19基
 物体認識カメラ、信号認識カメラ、遠隔監視カメラを搭載。



6 高精度3次元地図
 地図情報に道路環境データを加えた高精度地図。

運行ルート



走行距離 片道約4.4kmを約15分で運行
 バス停 小松駅、小松空港(途中停留所なしの快速便)
 備考 座席定員以上の利用により立ち乗りがある場合は手動で運転します。走行試験のため、上記ルート以外を走行することがあります。

運行時刻

小松駅 発	小松空港 発
8:20	9:05
9:30	10:05
10:40	11:20
13:25	14:05
14:45	-
15:40	16:05

※2月1日現在

運賃

大人310円、子供160円
 ※交通系ICカード対応

安全で円滑な運行に向けて

自動運転車両の安定走行には、周囲の車両の交通ルール順守も重要です。路上駐車せず、十分な車間距離を確保し、法定速度を守った走行をしましょう。



未来技術を活用した次世代型のまちづくり

自動運転バス



問い合わせ

地域交通政策室
 ☎24・8396

センサー機能の強化、最高速度の向上や座席数の増加など、全体的に性能がアップ!



小松駅と小松空港の間をスマートに接続する「レール&フライト」の拡大と街中への人流の創出に向けて、市では自動運転バスの導入を進めています。



最新型の自動運転バスと車内の様子

全国に先駆け、公共交通に社会実装

市では国の補助を活用し、令和6年3月から全国初となるレベル2での有償・通年の路線バス運行を開始しました。現在、年間2万人以上が利用する公共交通として快適・スムーズな移動を支え、街中への人の流れの拡大にもつながっています。

レベル4に向けて取り組みを加速

昨年3月に駅・空港間の一部を除く約7.5キロメートル区間を対象に国からレベル4の認可を取得し、現在は全区間認可に向けて取り組んでいます。今年度は市所有の車両2台を最新モデルに交換し、機能強化した車両の試験走行と認可申請手続きを進めています。

自動運転のレベル

レベル	概要	運転の主体	市の取り組み
5	全ての運転操作が自動化	システム	
4	決められた条件下で、全ての運転操作が自動化 ドライバー操作は必要なし	システム	実用化に向け 取り組み展開中
3	決められた条件下で、全ての運転操作をシステムが行う ただし、システムから要求があった場合、 ドライバーは運転に戻らなければならない	システム	
2	アクセル、ブレーキ操作及びハンドル操作の 両方を部分的に自動化	運転者	令和6年3月 実用化
1	アクセル、ブレーキ操作またはハンドル操作の どちらかを部分的に自動化	運転者	